

福岡市立福翔高等学校

「グローバル経営プログラム」

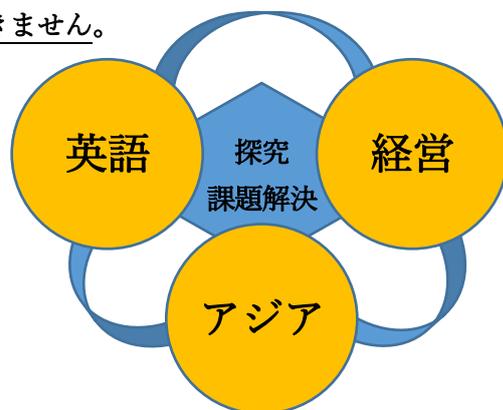
グローバル経営プログラムとは？

「アジア」と「経営」をキーワードに、「簿記」や「情報処理」など経営に必要なビジネススキルを身に付けながら、英語だけでなくアジア言語（韓国語・中国語）を学習できます。また、東南アジアの高校生や大学生との交流など様々なプロジェクトを通じて異文化を理解し、豊かな国際感覚と広い国際的視野を身に付け、21世紀をリードする高い「志」をもって、自らの目指すべきキャリア像を描き、将来世界を舞台に活躍することのできる福翔生を育成することを目的としています。商業科目21単位を学習します。

※文Ⅲコースでの設定となります。プログラムの途中変更はできません。

目指す生徒像

- ◇広い国際的視野を持ち、様々な情報を処理し分析できる
- ◇英語やアジア言語を活用し、コミュニケーションがとれる
- ◇多様な価値観を共有できるようになる
- ◇経営感覚をもっている



英語

大学入試に対応できる能力を身に付けながら、外国人とのコミュニケーションを通して、実践的な語学力や異文化への理解を深めます。また、ビジネス英語も学習します。

【目標】全商英語検定1級、実用英語技能検定2級など

経営

1年次から「簿記」を学習し、企業の経営状態などを理解・分析する能力を身に付け、さらに、2年次から「情報処理」を学習し、情報を主体的、実践的に活用する能力を身に付け、経営リテラシーを学びます。

【目標】全商簿記実務検定1級、日商簿記検定2級、全商情報処理検定1級、日商販売士2級など

アジア

中国語や韓国語などの「アジア言語」が学習でき、外国人とのコミュニケーションを通して、実践的な語学力や異文化への理解を深めます。

【目標】アジアのことについての知識・教養を身に付け、異文化を理解できる能力を身に付ける。

★目指す進路★

- 国公立大学・私立大学
- ・経営学系
- ・商学系
- ・国際系
- ・人文系など

★★特 色★★

- ◇異文化体験研修
- ◇高大連携
 - ・留学生との交流
 - ・特別講座受講



Q. グローバル経営プログラムでは、具体的にどういったことを学ぶことができますか？

福岡市は古くから商業都市であり、アジアに開かれたまちづくりを進めています。それに応えるために、このプログラムでは、「アジア言語」と「英語」がわかり、さらに経営感覚をもった人材の育成を目指します。「アジア」と「経営」をキーワードに、通常の科目である英語や国語などの他に商業科目などを学習します。(履修するプログラム科目の一部)

1年次：「簿記」(4単位)

2年次：「財務会計Ⅰ」(4単位)、「原価計算」(2単位)、「情報処理」(2単位)、「アジア言語基礎」(2単位)「SCP 経営演習」(1単位)

3年次：「総合簿記」(4単位)、「情報処理演習」(3単位)、「ビジネスコミュニケーション」(2単位)、「アジア言語発展」(2単位)などの特色ある科目を学習します。
アジア言語は、「韓国語」「中国語」のいずれかを学習できます。

Q. グローバル経営プログラムを希望するにはどうすればよいですか？

特色化選抜で「グローバル経営」を希望するか、特色化選抜(部活動、生徒会活動)及び一般入試で合格後に希望することができます。入学前に、特色化選抜(部活動、生徒会活動)及び一般入試の合格者については希望調査を行います。ただし、「特進クラス」は、入学前に合格者全員に実施するテストで選抜します。「グローバル経営プログラム」については、テストの成績にかかわらず、原則、希望通りとなり人数制限はありません。2年次以降は、文Ⅲコース以外選抜できません。特色化選抜で「グローバル経営」の合格者は、必ずグローバル経営プログラムを受講しなければなりません。

Q. コースとプログラムの違いは何ですか？

コースは、すべての生徒がそれぞれの進路実現のために、2・3年次から5つのコースを選択して系統的に学習していくための教育課程を示したものです。プログラムは、選択したコースに対して、さらに明確な到達目標に向かうために、選択科目を整合的に配置した教育課程を示したものです。プログラムは、すべての生徒が選択するものではなく、本校で用意しているプログラムが自分の進路実現にとって有為である場合に選択するものです。本校では、グローバル経営プログラムの他、スポーツ・文化プログラム、特別文理プログラムがあります。

Q. どのような資格が取得できますか？

全商簿記実務検定1級、全商情報処理検定1級、実用英語技能検定2級などの取得を目指します。

Q. 大学進学は可能ですか？

2年次以降は「文Ⅲコース」に所属し、商業科目2.1単位を修得して、文科系の人文系学部、経営・商学部などの大学進学を前提にしたカリキュラムになっていますが、文科系の大学で課される「社会」のかわりに「簿記」で受験することを想定しています。「簿記」による受験は、一部の私立大学の文系学部限定されるものの一般入試による受験が可能です。また、福岡大学商学部とは特別連携指定校となっており、推薦基準を満たせば指定校推薦での受験(指定校推薦は人数制限あり)、さらに、国公立大学についても推薦基準を満たせば、総合学科枠の推薦入試で経済学部などの受験も可能です。※就職も可能です。

※一般入試で社会のかわりに「簿記」で受験できる私立大学：

福岡大学商学部・経済学部・法学部、久留米大学商学部など

※総合学科枠推薦入試を実施している国公立大学：

佐賀大学経済学部、山口大学経済学部、長崎大学経済学部、北九州市立大学経済学部など

